

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習6⑦							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・夜間部	3年	4期	中根 わたる				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	総合領域			座学	1	10	
科目概要							
鍼灸師として必要な疾患の知識を定着させ、鑑別ができる応用力を身につけるため、1, 2年次に学んだ専門基礎・専門分野を中心として、教科を横断した学習を行う。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>		人体の正常な構造と機能を複合的に学習することで、患者の病態を的確に把握し、それに応じた施術ができ、患者のQOLをを最大限高めるための幅広い能力を備えた鍼灸師となることを目指す。					
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>		1. 解剖学と生理学の基礎を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 2. 循環器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 3. 呼吸器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 4. 消化器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 5. 泌乳気系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 6. 内分泌系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 7. 神経系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 8. 感覚器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 9. 運動器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を提示できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第1回	解剖学と生理学の基礎	解剖学P2~34 生理学P2~14	教科書・筆記用具
第2回	循環器系	解剖学P36~61 生理学 P16~52、278、 287	教科書・筆記用具
第3回	呼吸器系	解剖学P62~68 生理学P54~66	教科書・筆記用具
第4回	消化器系	解剖学P70~88 生理学P68~90	教科書・筆記用具
第5回	生殖器系	解剖学P90~106 生理学 P152~163	教科書・筆記用具
第6回	内分泌系	解剖学 P108~114 生理学 P130~150	教科書・筆記用具
第7回	神経系	解剖学 P116~146 生理学 P165~216	教科書・筆記用具
第8回	感覚器系	解剖学 P148~158 生理学 P250~276	教科書・筆記用具
第9回	運動器系	解剖学 P160~316	教科書・筆記用具
第10回	定期試験		筆記用具
実務経験と本講義との関連について			
メールアドレス			
nakane@nihonisen.ac.jp			